

労働局、気象台及び伊勢崎市の長が初めて合同で 建設現場での熱中症防止パトロールを実施しました

8月18日（火）群馬労働局では、熱中症の増加が懸念されることから、熱中症予防のための啓発活動として、前橋地方気象台と伊勢崎市の3機関の長らが自ら先頭に立ち、合同で建設現場のパトロールを実施しました。



工事関係者に挨拶する各機関の長



工事長より説明を受ける各機関の長
(左より) 気象台長、労働局長、市長



熱中症救護袋の説明を聞く労働局長



クールシェルターを体感する各機関の長



熱中症防止対策の説明を聞く各機関の長



報道機関の取材を受ける労働局長